



見て、知って、考える  
SGRAふくしまスタディツアー2015  
《飯舘村、帰還に向けて》

参加者募集

渥美国際交流財団SGRAでは2012年から毎年、福島第一原発事故の被災地である福島県飯舘（いいたて）村でのスタディツアーを行ってきました。  
ふくしまスタディツアーでの体験や考察をもとにしてSGRAワークショップ、SGRAフォーラム、SGRAカフェ、そしてバリ島で開催された「第2回アジア未来会議」でのExhibition & Talk Sessionなど、さまざまな催しを展開してきました。  
今年も10月初めに第4回目の「SGRAふくしまスタディツアー」を行います。ぜひ、ご参加ください。

日 程 : 2015年10月2日（金）、3日（土）、4日（日）2泊3日  
参加メンバー : 渥美財団奨学生、ラクーンメンバー、SGRAメンバー その他  
人 数 : 7～8人程度  
宿 泊 : 「ふくしま再生の会-霊山（りょうぜん）センター」  
参加費 : 渥美奨学生、ラクーンメンバーは無料  
一般参加者は新幹線往復費用+1万円  
申込み締切 : 9月15日（火）  
申込み・問合せ : (渥美国際交流財団 SGRA 角田) [tsunodaaisf@gmail.com](mailto:tsunodaaisf@gmail.com)  
[Tel:03-3943-7612](tel:03-3943-7612)

【プログラム（仮）】（参加の希望を聞いて最終プログラムを決めます）

第1日目

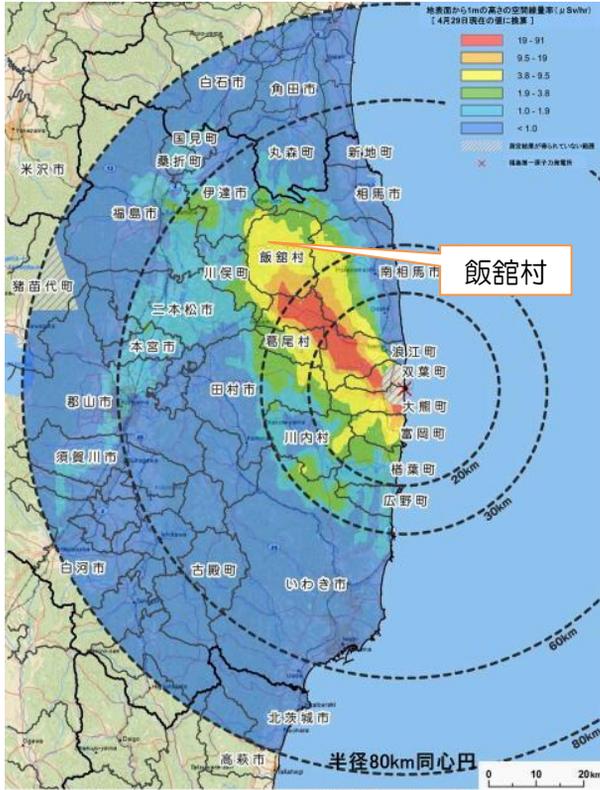
朝：東京⇒福島（新幹線）  
午後：飯舘村内の視察・見学  
夜：村民（避難住民）、「ふくしま再生の会」メンバー達との語らい  
テーマ：「帰還に向けて-地域住民として、今語りたいこと」（菅野宗夫）  
「ふくしま再生の会の活動-生活再建の試み-」（田尾陽一）  
「帰還と風評被害：原発事故被災地の苦悩」（寺島英哉）

第2日目

朝：避難住民との語らい/村内見学  
避難所生活を送るお年寄りたちとの語らい：「いつ、自分の家に帰れるのか・・・」  
午後：「ふくしま再生の会」での協働作業  
地元農民、「ふくしま再生の会」のメンバーと共に「稲の刈入れ」の協働作業  
夜：若い世代との語らい  
若い世代との語らい：「飯舘村再生の意味」「真手（マテイ）の村造りは持続可能か」

第3日目

午前：未定（参加者の希望で決めます）  
午後：飯舘⇒福島、福島⇒東京（新幹線）



文部科学省及び米国DOEによる航空機モニタリングの結果

## 《飯舘（いいたて）村とは》

東京から北に約300Km

福島第一原発から北西に約30~40Km

人口：6,100人

面積：230Km<sup>2</sup>（東京の山手線内の3.5倍）

主な産業：酪農、農業、林業など

飯舘村は75%が森林に囲まれ「日本の美しい村100選」にも選ばれた村でした。

## 《飯舘村の放射能被害》

- ❑ 東日本大震災による福島第一原発事故が発生したのは2011年3月11日。この時点では飯舘村には深刻な被害はありませんでした。
- ❑ しかし、3月14日福島第一原発が水蒸気爆発をおこし大気中に放射能汚染物質（radioactive pollutant）がまき散らされました。放射能汚染物質が風に乗って飯舘村の上空に来た時、雨や雪が降り、雨や雪に付着した放射能汚染物質が飯舘村に降り注いだのです。
- ❑ そして5月に政府の唐突な指示により全村避難が開始され、それ以降4年を経た今日でも、全村民が避難生活を余儀なくされています。

## 《飯舘村の現状と課題》

- ❑ 飯舘村の全村民は、現在でも近隣の町村あるいは日本各地で避難生活をしています。しかし、村内で生活すること（夜、寝泊りをする）は禁止されていますが、昼間に村内に入ることには許されています。
- ❑ 現在は、放射線量も徐々に下がりはじめています。また膨大な資金を投入し家屋や農地の除染（decontamination）事業が行われています。
- ❑ 政府からは「2017年3月に帰還する」という方針が出されました。
- ❑ 大きな問題としては、住民が帰還したとしても、以前と同様の酪農や農業、林業を再生するためには、大変な時間と労力がかかります。政府は、こうした地域再生に対する具体的な政策は持っていません。
- ❑ 住民たちは「自分のふるさとに帰りたい」、「ふるさとで昔ながらの生活をしたい」という想いを持つ一方で、帰ったとしても「生活ができない」という問題に直面しています。

## 《ふくしま再生の会》

- ❑ 今回のスタディツアーの受入団体である「ふくしま再生の会」は、飯舘村の農民、都市からのボランティア、大学等の研究者/学識者（東大大学院農業生命科学研究所、高エネルギー加速器研究機構、その他世界の大学・研究所など）の3グループのコラボレーションを原則として活動する認定NPO法人です。
- ❑ 2011年秋から、飯舘村の再生プロジェクトとして、住民による効率的な除染方法の研究開発や飯舘村に伝わる「マデイ（真手）」の考え方をもとにした、サステナブル/エコロジカルな地域産業とコミュニティの再生に取り組んでいます。

### ツアーの安全性について：

1. 飯舘村の放射線量は低減し、除染作業も進められています。
2. 飯舘村内では昼間の活動は認められており、多くの住民や車が行き交っています。
3. ツアーには放射能問題の専門家が同行し、放射線量が高いと思われる場所での活動は行いません。
4. 一人一人が放射線測定器を持ち、自分で計測し、ポイントごとに安全を確認しながら行動します。
5. 夜は、飯舘村外の宿泊施設（霊山センター）に宿泊します。